

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ノジマ

コード番号 7419 URL <http://www.nojima.co.jp>

代表者 (役職名) 代表執行役社長

(氏名) 野島 廣司

問合せ先責任者 (役職名) 代表執行役専務

(氏名) 三枝 達実

TEL 050-3116-1212

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	161,438	0.8	1,240	△68.7	3,327	△46.6	1,844	△54.9
23年3月期第3四半期	160,097	32.2	3,962	49.8	6,235	40.6	4,085	7.7

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,852百万円 (△54.6%) 23年3月期第3四半期 4,076百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	97.41	96.65
23年3月期第3四半期	218.44	216.35

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	68,411	22,077	32.1	1,155.02
23年3月期	64,054	20,678	32.2	1,098.65

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 21,991百万円 23年3月期 20,615百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
24年3月期	—	10.00	—		
24年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	220,000	3.0	2,300	△48.8	5,600	△23.0	3,200	△13.7	170.96

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) ソロン株式会社

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)」に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)」に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	20,462,408 株	23年3月期	20,462,408 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,422,233 株	23年3月期	1,697,807 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	18,930,506 株	23年3月期3Q	18,704,199 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
第3四半期連結会計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
第3四半期連結会計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災発生に伴う景気の落ち込みに一部回復基調は見られるものの、欧州金融危機や歴史的な円高、株安の進行、タイで発生した洪水の影響などにより、先行き不透明な情勢の中で推移いたしました。

家電流通業界におきましては、7月のアナログ停波後、薄型テレビを中心に需要が大幅に縮小し、厳しい商環境が続きました。一方で、消費者の節電への関心は引続き強く、省エネ関連商品は堅調に推移したものの、家電エコポイント制度の変更に伴うテレビの駆け込み需要があった前第3四半期連結累計期間と比べて、低調に推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、デジタルネットワーク専門店として「コンサルティングセールス」に一段と注力し、販売の質の向上に取り組みました。最新のデジタル家電や節電商品のコンサルティングを行い、お客様に喜んで「買っていただく」よう努めてまいりました。

店舗面では、新静岡セノバ店、テラスモール湘南店など12店舗の新規オープンのほか、巻店、小出店など4店舗のスクラップ&ビルドや増床を行いました。

販売状況につきましては、省エネ機能の高いエアコンや冷蔵庫などの白物家電、スマートフォンへの買い換えが進む携帯電話、タブレット端末等の販売が好調に推移いたしました。

また、人件費をはじめとする販売費及び一般管理費については、より一層の削減を継続するとともに、在庫や店舗運営の効率化にも取り組み、さらなる収益体質の改善を進めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前第3四半期連結累計期間に比べ13億40百万円増加し、1,614億38百万円（前年同四半期比0.8%増）となりました。

収益につきましては、前第3四半期連結累計期間に比べ、営業利益は27億22百万円減少して12億40百万円（前年同四半期比68.7%減）、経常利益は29億7百万円減少して33億27百万円（前年同四半期比46.6%減）、四半期純利益は22億41百万円減少して18億44百万円（前年同四半期比54.9%減）となりました。

なお、組織再編成の一環として、平成23年10月にソロン株式会社を吸収合併し、平成23年12月に100%子会社である西日本モバイル株式会社を設立いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産額は、新規店舗出店による有形固定資産の増加15億60百万円、基幹システムの入替による無形固定資産の増加6億8百万円、現金及び預金の増加17億8百万円等により、前連結会計年度末に比べ43億56百万円増加し、684億11円（前連結会計年度末比6.8%増）となりました。

負債額は、未払法人税等の減少22億40百万円、負ののれんの償却による減少8億69百万円等がありましたが、買掛金の増加26億1百万円、短期借入金の増加額54億89百万円等により、前連結会計年度末に比べ29億57百万円増加し、463億33百万円（前連結会計年度末比6.8%増）となりました。

純資産は、自己株式の取得による増加1億63百万円、剰余金の配当3億77百万円の支出等がありましたが、四半期純利益18億44百万円の計上等により、前連結会計年度末に比べ13億99百万円増加し、220億77百万円（前連結会計年度末比6.8%増）となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、52億48百万円（前年同四半期連結累計期間115億74百万円）となりました。

各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は17億59百万円（前年同四半期比75.2%減）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益31億25百万円を計上し、仕入債務の増加額26億1百万円、売上債権の減少額3億97百万円等があったものの、法人税等の支払額37億61百万円、未収入金の増加額3億35百万円、前受金の減少額15億12百万円等があったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は37億93百万円（前年同四半期比92.8%増）となりました。

これは主に、新規店舗出店に伴う有形固定資産の取得による支出29億35百万円及び敷金及び保証金の差入による支出7億37百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は37億40百万円（前年同四半期は4億86百万円の使用）となりました。

これは、配当金の支払3億77百万円、長期借入金の返済による支出22億72百万円等があったものの、短期借入金の純増額54億89百万円、長期借入れによる収入11億24百万円があったためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想は、平成23年12月13日発表の「連結会社化に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想の修正から変更を行っておりません。

上記予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間において、当社の特定子会社かつ完全子会社であったソロン株式会社を吸収合併したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の金額は、216円32銭であります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,606,035	5,314,183
受取手形及び売掛金	12,915,707	12,518,258
商品及び製品	23,190,035	22,781,665
原材料及び貯蔵品	23,292	5,814
繰延税金資産	1,279,993	991,904
未収入金	5,340,986	5,676,149
未収還付法人税等	—	798,948
その他	575,374	765,468
貸倒引当金	△16,628	△2,690
流動資産合計	46,914,796	48,849,700
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,560,979	5,465,498
工具、器具及び備品(純額)	1,618,517	1,935,688
土地	3,480,275	4,242,807
その他(純額)	447,269	23,150
有形固定資産合計	10,107,042	11,667,145
無形固定資産		
のれん	63,843	39,454
ソフトウェア	21,151	719,269
その他	74,389	9,498
無形固定資産合計	159,384	768,222
投資その他の資産		
投資有価証券	499,665	472,754
繰延税金資産	569,114	390,936
敷金及び保証金	5,499,669	5,947,359
その他	333,380	352,765
貸倒引当金	△28,523	△37,603
投資その他の資産合計	6,873,306	7,126,212
固定資産合計	17,139,733	19,561,580
資産合計	64,054,529	68,411,281

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,943,717	21,545,272
短期借入金	760,132	6,250,000
1年内返済予定の長期借入金	2,909,793	1,883,682
1年内償還予定の社債	250,000	250,000
未払金	2,967,619	2,583,972
未払法人税等	2,240,302	—
未払消費税等	323,759	248,527
ポイント引当金	2,478,353	2,681,632
その他	2,990,138	1,994,669
流動負債合計	33,863,816	37,437,757
固定負債		
社債	625,000	500,000
長期借入金	3,807,519	3,685,335
販売商品保証引当金	1,900,351	2,305,083
役員退職慰労引当金	142,993	146,579
退職給付引当金	1,288,146	1,391,665
資産除去債務	25,588	31,216
負ののれん	1,062,185	193,124
その他	660,108	642,550
固定負債合計	9,511,893	8,895,556
負債合計	43,375,709	46,333,314
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,323,175	4,323,175
資本剰余金	4,227,970	4,295,246
利益剰余金	12,965,955	14,429,927
自己株式	△913,292	△1,077,125
株主資本合計	20,603,808	21,971,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,873	20,487
その他の包括利益累計額合計	11,873	20,487
新株予約権	63,137	86,256
純資産合計	20,678,820	22,077,967
負債純資産合計	64,054,529	68,411,281

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	160,097,975	161,438,593
売上原価	129,068,885	130,678,144
売上総利益	31,029,089	30,760,448
販売費及び一般管理費	27,066,325	29,520,150
営業利益	3,962,764	1,240,297
営業外収益		
受取利息	21,445	20,734
仕入割引	1,425,028	1,226,299
負ののれん償却額	893,131	869,060
その他	129,696	161,156
営業外収益合計	2,469,301	2,277,251
営業外費用		
支払利息	135,077	120,789
社債利息	4,003	2,725
貸倒引当金繰入額	5,172	—
その他	52,523	66,481
営業外費用合計	196,778	189,996
経常利益	6,235,288	3,327,552
特別利益		
投資有価証券売却益	202	—
本部移転費用引当金戻入額	12,013	—
賃貸借解約補償金	—	11,018
その他	12,014	2,911
特別利益合計	24,229	13,929
特別損失		
固定資産除却損	26,425	108,125
投資有価証券評価損	67,626	43,387
減損損失	62,812	17,638
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	203,669	—
その他	8,912	46,583
特別損失合計	369,446	215,735
税金等調整前四半期純利益	5,890,071	3,125,746
法人税、住民税及び事業税	2,428,079	814,890
法人税等調整額	△623,866	466,780
法人税等合計	1,804,213	1,281,671
少数株主損益調整前四半期純利益	4,085,857	1,844,075
四半期純利益	4,085,857	1,844,075

(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	64,942,692	47,368,729
売上原価	51,852,165	38,506,866
売上総利益	13,090,526	8,861,863
販売費及び一般管理費	10,434,373	9,273,178
営業利益又は営業損失(△)	2,656,153	△411,315
営業外収益		
受取利息	6,844	6,853
仕入割引	589,990	339,387
負ののれん償却額	289,686	289,686
その他	48,496	42,363
営業外収益合計	935,019	678,292
営業外費用		
支払利息	44,179	38,010
社債利息	1,252	849
その他	28,545	16,607
営業外費用合計	73,976	55,467
経常利益	3,517,196	211,510
特別利益		
投資有価証券評価損戻入益	4,979	—
新株予約権戻入益	64	1,529
その他	11,399	—
特別利益合計	16,444	1,529
特別損失		
投資有価証券評価損	—	23,392
減損損失	55,008	1,597
災害による損失	—	8,026
その他	485	5,452
特別損失合計	55,494	38,468
税金等調整前四半期純利益	3,478,145	174,570
法人税、住民税及び事業税	1,499,203	△218,669
法人税等調整額	△337,436	358,560
法人税等合計	1,161,766	139,891
少数株主損益調整前四半期純利益	2,316,379	34,678
四半期純利益	2,316,379	34,678

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,085,857	1,844,075
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△9,354	8,613
その他の包括利益合計	△9,354	8,613
四半期包括利益	4,076,503	1,852,688
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,076,503	1,852,688

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,316,379	34,678
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	2,142	△14,839
その他の包括利益合計	2,142	△14,839
四半期包括利益	2,318,521	19,839
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,318,521	19,839

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,890,071	3,125,746
減価償却費	1,062,205	1,213,153
減損損失	62,812	17,638
負ののれん償却額	△893,131	△869,060
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	87,552	103,518
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	590,520	203,279
販売商品保証引当金の増減額 (△は減少)	499,900	404,732
受取利息及び受取配当金	△33,359	△33,063
支払利息	135,077	120,789
投資有価証券評価損益 (△は益)	67,626	43,387
売上債権の増減額 (△は増加)	187,877	397,448
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△12,045,962	425,848
未収入金の増減額 (△は増加)	△1,600,367	△335,162
仕入債務の増減額 (△は減少)	14,170,433	2,601,555
前受金の増減額 (△は減少)	472,676	△1,512,803
その他	471,394	△301,546
小計	9,125,328	5,605,462
利息及び配当金の受取額	33,379	33,070
利息の支払額	△125,819	△117,363
法人税等の支払額	△1,947,633	△3,761,462
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,085,254	1,759,706
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,629,191	△2,935,388
無形固定資産の取得による支出	△143,332	△236,143
投資有価証券の取得による支出	—	△8,378
敷金及び保証金の差入による支出	△342,427	△737,790
敷金及び保証金の償還による収入	139,770	95,388
その他	7,588	28,660
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,967,592	△3,793,650
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,069,011	5,489,868
長期借入れによる収入	—	1,124,000
長期借入金の返済による支出	△1,276,995	△2,272,295
社債の償還による支出	—	△125,000
配当金の支払額	△294,499	△377,087
その他	15,713	△98,913
財務活動によるキャッシュ・フロー	△486,770	3,740,571
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,630,891	1,706,627
現金及び現金同等物の期首残高	6,943,445	3,541,816
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,574,337	5,248,443

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

当社グループは、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、当第3四半期連結累計期間において、平成23年5月10日開催の取締役会決議に基づき187,646千円、平成23年11月1日開催の取締役会決議に基づき192,457千円の剰余金の配当を行っております。

その結果、当第3四半期会計期間末において利益剰余金が14,429,927千円となっております。

また、平成23年8月2日開催の取締役会決議に基づき、従業員インセンティブ・プラン「従業員持株E S O P信託」を導入し、自己株式469,500株を従業員持株E S O P信託口(以下「E S O P信託口」という。)に預け入れたため、自己株式と資本剰余金がそれぞれ71,387千円増加しております。

その結果、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が4,295,246千円、自己株式が1,077,125千円となっております。

なお、当第3四半期連結会計期間末にE S O P信託口が所有する当社株式数及び金額は、それぞれ429,000株及び296,010千円であります。